

## バレーボールに関する研究文献についての報告

柏森 康雄 (編集委員長)

本学会では、編集委員会の活動内容の一環としてバレーボールに関する研究文献の収集並びに情報提供を行っています。現在までの活動状況をまとめると、平成9年3月の第2回総会において平成3(1991)年から平成7(1995)年までの5年間分、また、本年3月の第6回総会において平成8(1996)年から平成12(2000)年までの5年間分をまとめて報告しました。そこで、この10年間の収集分野ごとの件数は次のようになりました。

<収集分野>

- 1) 日本体育学会 大会発表(大会号掲載) 95件
  - 2) 体育学研究 3件
  - 3) バレーボール研究 12件
  - 4) スポーツ運動学・方法学研究 25件
  - 5) 大学及び研究所紀要 172件
  - 6) 地方及び各種学会誌 21件
  - 7) 雑誌・その他 62件
- 合計 390件

なお、1)の日本体育学会大会発表の95件については、本学会ホームページに「文献データ一覧」として、発表年次・表題・著者・雑誌名・巻・号・頁・キーワード・分野等が掲載されています。また、今回の平成8年から平成12年までの5年間分をまとめたものは、今回「バレーボール研究」第3巻と同封いたしましたのでご活用ください。

次に、本学会の副会長である清川勝行先生(天理大学)が、ライフワークとして取り組んでおられる日本バレーボールの文献研究を紹介します。清川先生は、大正6(1917)年から昭和58(1983)年までの日本におけるバレーボールに関する単行本・定期刊行物の内容をまとめて発表されています。表1はその内容を年代別に分類表にしたものです。

この分類表に収められている文献は、天理大学体育学部所蔵の図書をもとし、定期刊行物については一部奈良女子大学、奈良教育大学所蔵の図書をまとめられたものです。単行本については、野口岩三郎著；体育書解題、および木下秀明編著；体育・スポーツ書解題によりその所在を調べられ、国立国会図書館、秩父宮記念スポーツ図書館、野球体育博物館図書室、芦屋市立図書館、大阪体育大学、大阪府立女子大学、光華女子大学の協力を得て、単行本；202点、定期刊行物；343点計545点について調査された。調査された内容を文献目録として、単行本は著者、書名、発刊所、発行年が、定期刊行物は、投稿者名、投稿題目、投稿誌名、発行年、巻、号、掲載ページを整理されている。そ

の詳細については、天理大学学報<sup>1,2)</sup>をご参照下さい。

また、本学会会員の山本章雄先生(大阪女子大学)が、日本バレーボール協会科学研究委員会の事業の一環として

表-1 年代別分類表

年代	種類 誌名	定期刊行物										合計	
		単行本 著書	小計	体育と競技	学術体育 学術体育	新体育	学校体育	体育の科学	体育科教育	子供と女子の体育	小計		
1917	大6	1	1										1
18	7	0	0										0
19	8	(1)0	0										0
1920	9	0	0										0
21	10	0	0										0
22	11	0	0	↓1								1	1
23	12	1	1	③1								1	2
24	13	1	1	②0								0	1
25	14	3	3	0								0	3
26	15	3	3	⑤0								0	3
27	昭2	0	0	⑫								0	0
28	3	1	1	2								2	3
29	4	(10)1	1	(5)1								1	2
1930	5	1	1	0								0	1
31	6	1	1	⑫								0	1
32	7	2	2	⑫								0	2
33	8	0	0	⑫								0	0
34	9	0	0	⑫								0	0
35	10	2	2	⑫								0	2
36	11	0	0	③1								1	1
37	12	1	1	5								5	6
38	13	1	1									0	1
39	14	(8)0	0	(7)③1								1	1
1940	15	2	2	(7)2								2	4
41	16	0	0		0							0	0
42	17	3	3	①2								2	5
43	18	3	3	0								0	3
44	19	0	0	0								0	0
45	20	0	0									0	0
46	21	0	0		①1							1	1
47	22	0	0		①1							1	1
48	23	3	3		2	↓1						3	6
49	24	(13)2	2	(2)	(2)	(4)0	(2)1					1	3
1950	25	1	1		0	1	↓0					1	2
51	26	2	2		0	①1	0					1	3
52	27	1	1		4	1	①0					5	6
53	28	2	2		1	1	0	↓1				3	5
54	29	0	0		1	2	0	0				3	3
55	30	1	1		3	1	1	2				7	8
56	31	2	2		2	1	0	1				4	6
57	32	2	2		3	3	0	0				6	8
58	33	2	2		6	2	0	0				8	10
59	34	(15)2	2		(27)7	(16)3	0	(5)1	(2)↓2			13	15
1960	35	4	4		2	5	0	1	①0			8	12
61	36	2	2		5	9	0	5	1	①0		20	22
62	37	2	2		3	7	0	8	0	18		18	20
63	38	2	2		2	10	0	1	0	13		15	15
64	39	1	1		3	4	0	1	2	10		11	11
65	40	7	7		5	4	1	0	0	10		17	17
66	41	7	7		1	6	0	1	0	8		15	15
67	42	2	2		3	6	0	2	1	12		14	14
68	43	3	3		4	7	0	1	0	12		15	15
69	44	(34)4	4		(29)1	(60)①2	(1)0	(21)1	(4)0	4		4	8
1970	45	1	1		1	5	1	1	1	9		10	10
71	46	3	3		6	4	0	1	0	11		14	14
72	47	13	13		4	2	0	3	1	10		23	23
73	48	6	6		6	8	0	2	1	17		23	23
74	49	8	8		0	3	0	0	1	4		12	12
75	50	5	5		17	6	0	0	0	23		28	28
76	51	4	4		0	3	1	1	0	5		9	9
77	52	10	10		0	5	1	2	0	8		18	18
78	53	16	16		⑥0	5	1	0	4	10		26	26
79	54	(76)10	10		(35)1	(44)3	(6)2	(11)1	(10)2	9		19	19
1980	55	12	12		↑0	8	1	1	1	11		23	23
81	56	15	15			9	1	0	3	13		28	28
82	57	13	13			6	0	2	2	10		23	23
83	58	(45)5	5			(36)13	(2)0	(4)1	(7)①1	15		20	20
合計		202	202	14	2	95	158	10	41	23	343	545	545

注1) 定期刊行物の表中、算用数字横の○の数字は、その年間の欠本数を示す。  
注2) 定期刊行物表中の↓および↑はそれぞれ創刊、休刊の印である。  
注3) 表中の( )内の数字はそれぞれ年代ごとの小計を示す。

取り組んでおられる文献収集<sup>3)</sup>について紹介します。文献の収集方法は、日本において発表された研究論文などの内、論文題目または副題に「バレーボール」もしくはバレーボールに関する「用語」が用いられているものを集録されている。収集の範囲と件数は以下の通りである。

★昭和6（1931）年から平成10（1998）年までに発表されたもので、収集可能であった文献。

- A) 大学・研究所の紀要など 679件  
 B) 各種学会の研究誌など 213件  
 C) 日本体育学会大会発表関係 555件 計 1447件

★調査された文献を発表年順にならべ、収集分野別に整理番号をつけられた。目録の記載事項には、論文題目、著者名、発表雑誌名、巻・号・数、頁数、が記載されている。

表-2 日本体育学会 大会発表研究文献一覧表

年度	発表総数	体育方法	測定評価	教科教育	バイオメカ	社会	心理	生理	体育史	発行発達	経営管理	保健
昭26年	1											
27年	2											
28年	3											
29年	1											
30年	2											
31年	4											
32年	3											
33年	11											
34年	14											
35年	10											
36年	12											
37年	12											
38年	12											
39年	9											
40年	9											
41年	17											
42年	19											
43年	15	9	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0
44年	15	9	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1
45年	15	9	0	0	キネシ1	3	0	2	0	0	0	0
46年	13	8	2	0	キネシ2	1	0	0	0	0	0	0
47年	13	6	1	0	キネシ2	2	2	0	0	0	0	0
48年	8	4	2	0	キネシ1	0	0	1	0	0	0	0
49年	10	6	2	0	キネシ1	1	0	0	0	0	0	0
50年	16	4	1	0	キネシ1	2	4	1	0	0	2	1
51年	11	3	2	0	キネシ0	3	1	2	0	0	0	0
52年	22	10	4	0	キネシ2	3	0	3	0	0	0	0
53年	10	7	1	0	キネシ1	0	0	1	0	0	0	0
54年	9	6	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
55年	13	8	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0
56年	17	7	1	2	5	2	0	0	0	0	0	0
57年	23	14	2	3	2	0	1	1	0	0	0	0
58年	18	13	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0
59年	17	12	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0
60年	21	9	2	3	2	1	1	3	0	0	0	0
61年	14	10	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0
62年	18	10	2	1	0	0	1	3	1	0	0	0
63年	14	7	2	2	0	1	1	1	0	0	0	0
平元年	10	4	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0
2年	17	12	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0
3年	5	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
4年	8	4	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0
5年	8	5	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0
6年	10	5	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0
7年	5	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
8年	11	7	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0
9年	16	12	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0
10年	8	6	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
11年	9	7	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
12年	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	562	241	41	23	27	31	16	31	2	3	4	2

\*総数は昭26年から平12年までの合計である。昭43年以降の総数は421題である。

\*昭42年（第18回大会）までは、分科会形式での発表はなく、8-10会場に分かれて発表が行われていた。

第18回大会までの発表総数は141題である。

\*昭和43年（第19回大会）からは、分科会形式の発表となる。

第19回大会以降の発表総数は421題である。これらの発表を分科会別に発表割合を求めると図-1ようになる。

\*昭和46年（第22回大会）から大会号が別冊となる。それ以前は各年度の体育学研究第5巻に掲載されている。

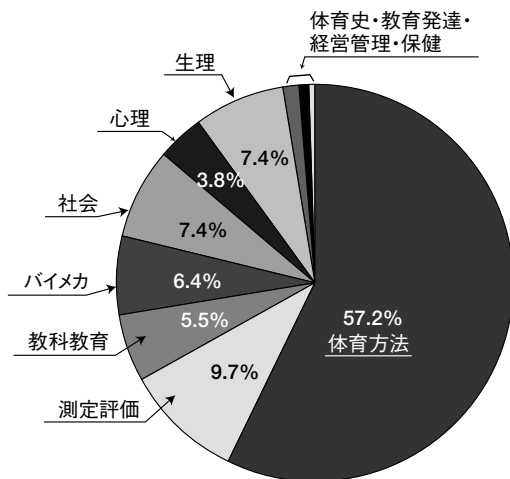


図-1

特に、日本体育学会が昭和26（1951）年より発刊している体育学研究を主とし、昭和46（1971）年から平成10（1998）年までの日本体育学会大会号に掲載されているバレーボール関係の文献を網羅されている。

そこで、それらの文献を引用しながら、本学会編集委員会が調査した平成3（1991）年から平成12（2000）年までの研究文献を追加し、日本体育学会の学会大会で発表された文献を発表分科会毎、また発表年次毎に件数をまとめた。表2はその内容を一覧表にしたものである。

以上のようにバレーボールに関する研究文献は、昭和6（1931）年から今日まで、山本先生が調査されたものと本学会編集委員会が調査したものを合わせると、研究文献だけでも約1500件を越す。また、清川先生が調査された単行本・定期刊行物は、大正6年から昭和58年までで545点にのぼる。これらの多くの貴重な資料を今後のバレーボールの普及・発展に生かすためにも、これらの資料のなお一層の活用が望まれる。掲載されている内容を研究分野別やテーマ別に分類・整理し、現時点で何が明らかにされているのか、

何が問題として残されているのかを明らかにしておくことが、バレーボールの研究にとって非常に有意義であり、今後の飛躍的な向上へとつながる引き金の役を果たすものと思われる。

本学会編集委員会では、今後も研究文献の収集に取り組むとともに「キーワード索引」や「著者索引」が手軽にできるシステムの構築を進めていきたいと考えている。また、海外の研究論文の収集にも精力を注ぎたいと思います。

なお、会員の皆様方からは、大学や研究所等に発表されている研究文献の情報を下記までお寄せ頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

<連絡先> 〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1  
大阪体育大学内

Fax 0724-53-8818

E-mail; kayamori@ouhs.ac.jp

バレーボール学会 編集委員長 柏森康雄

\* 研究文献の登録項目は次の通りです。

- 1) 研究年次（西暦，和暦）
- 2) 論文主題
- 3) 論文副題（ある場合のみ）
- 4) キーワード（5語以内）
- 5) 発表者名（著者名）；全員の名前を記載する
- 6) 雑誌名
- 7) 巻数，号，頁数（開始頁および終了頁）

\* 別刷りをお送り頂いても結構です。よろしくお願いいたします。

#### 参 考 文 献

- 1) 花田敬一，清川勝行：「日本におけるバレーボールの文献について」，天理大学学報（人文学会報）体育編：7巻，pp. 27-64, 1968
- 2) 清川勝行：「日本バレーボールの文献について（2）」，天理大学学報（堤 迪夫教授還暦記念特集）pp. 89-108, 第114輯
- 3) 山本章雄：「日本におけるバレーボールの文献について」，日本バレーボール協会科学研究委員会 研究報告集 第VI巻（1999）pp. 344-466